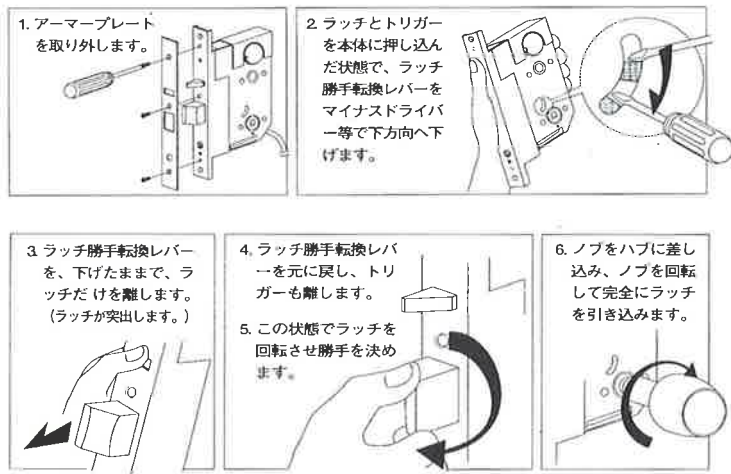
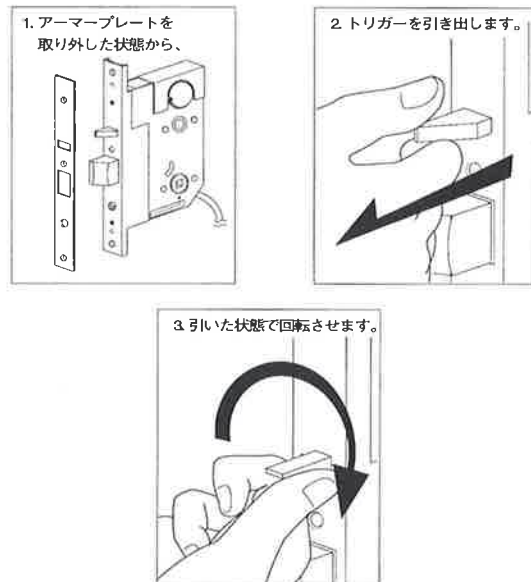
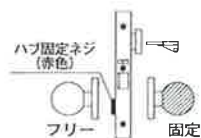
●6000シリーズ取扱説明書

■各部名称

工事上の注意：ノブの軸が扉と競っていますと正常に動作しません。 戸スキ寸法は、3mm～6mmにしてください。

注：図は説明用であり、実際の商品と異なる場合があります。
注：レバーハンドルの場合はノブをレバーハンドルに読みかえてください。

●ラッチの向きを変える

●トリガーの向きを変える

●ノブ固定側の決め方

この錠は、ハブ固定ネジがセットしてある面の反対側のノブが固定されます。固定側を変更する場合はハブ固定ネジを逆側へセットします。この時ネジがゆるむことが無いように締めてください。

●振れ止めのセット

錠ケースを扉にセットし、振れ止めネジを回し、振れ止めが開いた時点でケースをネジでしっかり固定してください。木製扉用には振れ止めネジがついていません。

●シリンダーのセット

扉厚に合わせて、4、5回ねじ込んだ後、HORIのマークが上になる位置で止め、シリンダー押さえネジを軽く締めます。この時、シリンダーの回り止めの溝にシリンダー押さえネジの爪が合っていないとシリンダーのがたつきの原因になります。シリンダー押さえネジがケースより飛び出す場合は位置があっていません。位置が合ったらシリンダー押さえネジを強く締めてください。ラッチの出し入れが重かったり、引っかかったりする時は、シリンダーのねじ込みが多すぎるか不足しているのが原因です。もう一度ねじ込みを調節してください。(シリンダーの動作テストをする場合は必ず扉を開いた状態で行ってください)

●メクラブタの取り付け　※開き勝手が違った場合のみ行ってください。

メクラブタの凹部分を、本体の凹の部分に合わせ、メクラブタを室内側に付けます。

※メクラブタは落ちないようにテープ等で止めてください。

●鍵であける

鍵をシリンダーに差し込み180度回した時点でラッチは、引き込みます。この位置で鍵を抜くことはできません。鍵は180度戻した位置で抜くことができます。

注：ラッチに扉の側圧等負荷があると開けづらくなる場合があります。負荷を取り除いて鍵を回してください。

（１）リモートコントロール・ロック（6000シリーズ電気錠）

●NO.6210（握り玉タイプ通電時解錠型電気錠）

●NO.6220（レバーハンドルタイプ通電時解錠型電気錠）

MPR-F-6210

錠　仕　様

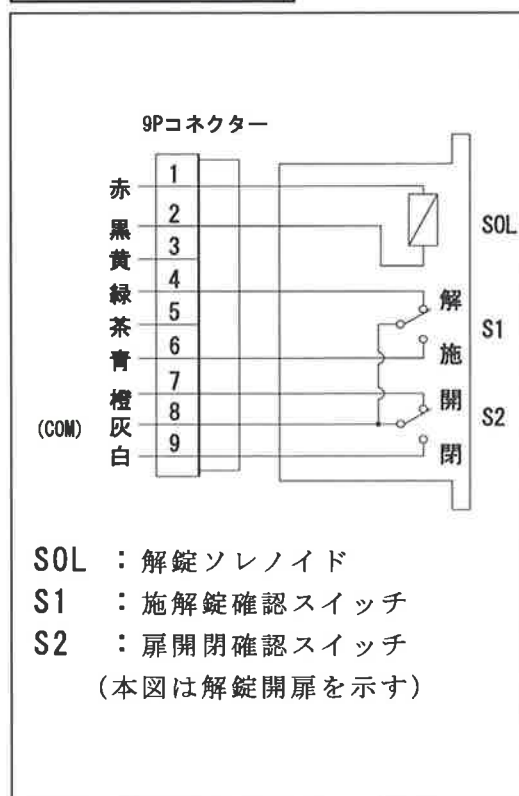
バックセット	70mm
スペーシング	95mm
錠ケース奥行	100mm
トリガー作動	フロント部より3mm以上6mm以下
ラッチボルト	ダブルスロー方式（閉扉時20mm出・開扉時10mm出）
フロント装置	シリンダー（電気錠・空錠切替）
フレ止メ装置	付
シリンダー	〔ＴＲ（トライデント）・６Ｐ〕S3-A型シリンダー使用
キーシステム	グランドマスターキー（ＧＭＫ）・マスターキー（ＭＫ） 逆マスターキー（ＭＭＫ）・共通キー（ＫＡ）等可能
標準対応戸厚	36mm以上45mm以下

電気回路仕様

SOL　：解錠ソレノイド

S1　：施解錠確認スイッチ

S2　：扉開閉確認スイッチ

（本図は解錠開扉を示す）

ソレノイド仕様

ソレノイド定格	電圧	電流	通電時間	通電率
標　準	24V	0.15A	連続通電可能	1/1
最　大	26V	0.16A	連続通電可能	1/1
最　少	20V	0.13A	連続通電可能	1/1
極　性	無し			

スイッチ仕様

確認スイッチ			施解錠	扉開閉
種　類			Ｓ１ マイクロスイッチ	Ｓ２ マイクロスイッチ
接点容量 (抵抗負荷)	24V	最大	100mA	100mA
		最小	3mA	3mA
	5V	最大	200mA	200mA
		最小	6mA	6mA
動　作			ラッチボルトがデットロックし且つ、外部ハンドルが固定された時 （青ー灰）がON	トリガーボルトが押された時 （白ー灰）がON

コネクター仕様

コネクター	形　式	線　種	長　さ
錠側補助コード	モレックス（プラグ） 1625-09P	ＵＬ＃２６ ８本	10ｃｍ
付属コード	モレックス（レセプタクル） 1625-09R	ＵＬ＃２２ 9本	20ｃｍ

NO.6210/6220

外観切欠図

単位　(mm)

戸厚	L寸法	
	片開	両開
36	22	18
40	24	20
45	26	22
50	28	26
55	30	28
60	34	30

操作仕様

機能記号	F		W	
フロント装置	L		L	
内／外	内部	外部	内部	外部
解錠方法	ノブ 又は レバー	遠隔操作 キー	遠隔操作 キー	遠隔操作 キー
略図				

●ノブの斜線は、ノブの固定を表記しています。
●遠隔操作を行う時は、フロント装置をLの位置にして下さい。
●フロント装置をULの位置にする事により遠隔操作に関係なく空錠に出来ます。